

平成30年12月20日

佐世保市幼児教育・保育施設  
園長・施設長各位

「次世代育成支援佐世保市行動計画及び佐世保市子ども・子育て支援事業計画」について  
アンケートのお願い - 再送

すでにアンケートを提出して下さった保育所(園)様へもFAXしております ご容赦ください

師走、皆様お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。そのような時期に、下記のアンケートをお願いしておりましたところ、12月19日付で27の保育所(園)様からご回答をいただきました。ありがとうございました。  
(幼稚園協会様には協会会員の皆様のアンケートを集めていただいております。)

しかし、残念ながらまだご回答いただいていない施設が多数です。日頃から皆様が子どもたちを育てる現場で直に感じていらっしゃる事を、この機会に是非とも伺わせていただき、市政に反映していただけるように子ども・子育て会議をとおして市長へお伝えしたいです。そのためには、過半数以上の方々からのご意見がなければ、とても弱い意見となってしまいます。

市民の皆様へはインターネットまたはアンケート用紙を配布して市がデータ収集しており、多くのデータが集まることが予想されます。利用者側と施設経営側の意見をつき合わせて、この会議で市と共に利用者・施設経営者の双方に利益となる支援事業計画が策定できれば、と思っております。

ご回答がまだの方は、平成31年1月10日までにお願ひ致します。

日野保育園 和田かおる

平成30年11月27日

佐世保市幼児教育・保育施設  
園長・施設長各位

佐世保市子ども・子育て会議  
委員 朝野卓也  
委員 仲尾勝利  
委員 和田かおる

平成32年度を始期とする

「次世代育成支援佐世保市行動計画及び佐世保市子ども・子育て支援事業計画」  
について (アンケートのお願い)

向寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、佐世保市子ども・子育て会議では平成32年度を始期とする「次世代育成支援佐世保市行動計画及び佐世保市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

現在は、平成27年3月に策定された「新させぼっ子未来プラン」が平成31年までの5年計画として進行中です。

子育て支援に関しましては、平成30年4月23日から5月11日までに、市内在住の満16歳以上の市民3,500人を対象として行われた「平成30年度佐世保市まちづくり市民意識アンケート調査」の抜粋によりますと、子育て支援は高齢者福祉について2番目に重要度が高いが、満足度指数は0.08と低くなっていることがわかりました。

(満足度指数 平均は0.11)

今後の子ども・子育て会議で、子育て支援の分野において幼児教育・保育サービスを更に充実させるには何ができるのかということを話し合います。その時に、市内乳幼児施設の皆様からのご意見やアイデアを反映させていただきたいと思ひ、このアンケートをお願いすることになりました。

2ページ目の5項目について、ぜひ皆様のご意見とアイデアをお聞かせください。アンケートの紙面が足りないようでしたら、別紙にご記入ください。そして、アンケート用紙と一緒にFAXで集計担当宛に平成30年12月18日までにご提出ください。

子育てしやすい佐世保市にするために、皆様のお知恵をお貸しください。

よろしくお願ひ致します。

以上

子ども・子育て会議アンケート集計担当 和田かおる宛  
日野保育園 FAX 0956-28-1853  
〒858-0923 日野町 780-5

締切日  
平成 31 年 1 月 10 日

施設名: \_\_\_\_\_

園長・施設長名: \_\_\_\_\_

匿名ご希望の場合は締切日必着で  
郵送をお願いします

1. 幼児教育・保育施設等の充実について  
 すでに充実している  
 まだ足りない → どのようにすればよいとお考えですか？
  
2. 時間外の保育について  
 すでに充実している  
 まだ足りない → どのようにすればよいとお考えですか？
  
3. 一時預かりについて  
 すでに充実している  
 まだ足りない → どのようにすればよいとお考えですか？
  
4. 病児・病後児保育について  
 すでに充実している  
 まだ足りない → どのようにすればよいとお考えですか？
  
5. 幼児教育・保育全般に関して必要な調査、研究、研修について  
 すでに充実している  
 まだ足りない → どのようにすればよいとお考えですか？
  
6. その他 - 上記5点以外でお考えの事がございましたら、ご記入ください。

市内108施設対象

子ども・子育て会議アンケート (2018年12月から2019年1月実施)

		1. 幼児教育・保育施設等の充実している	1. 幼児教育・保育施設等の充実についてどちらでもない	1. 幼児教育・保育施設等の充実していない	計	63	問題点・提案等
幼稚園協会	北部	4	1		5		* 利用者宅と入園希望園の場所の立地問題
幼稚園協会	中部	4			4	15	* 既存施設の充実が必要(2) * 新設を促進すれば特定法人の利益ばかりになるのではないか * 臨時的な定員増で対処する必要がある
幼稚園協会	東部	4	1	1	6		* 0才から2才の施設が不足している * 教育・保育内容は各園でよく工夫されている
保育会	北部	13	1	9	23		* 増築に対する補助金が必要(2) * 定員に達していない * 職員不足 * 補助金を充実させてほしい
保育会	中部	13	1		14	48	* 利用者のニーズに答えられていない * 市外へ保育士が流出しないような手当があればよいと思う * 子育て中の保育士が働きやすい環境と賃金が必要 * トイレの設備更新をしたい * 雨天時に子どもと保護者が遊べる施設があれば良いと思う
保育会	島しょ	1			1		
保育会	?	1			1		
		47	4	12			

	2. 時間外の保育 について すでに充実している	2. 時間外の保育 について どちらでもない	2. 時間外の保育 について 充実していない	計	63	
幼稚園協会	5			5		* 職員配置基準の緩和が必要
幼稚園協会	3		1	4	15	* 企業の協力が必要 * 潜在保育士の活用と人材バンクの充実が必要
幼稚園協会	4	1	1	6		* 保育士確保が必要 * 場は足りているので内容の充実が必要
保育会	17		6	23		* 職員の補充が必要 * 時間外の人件費負担大
保育会	12	1	1	14	48	* 就労の多様化に対応できていない * 夜間・祝・日保育の充実が必要 * 保育士配置条件緩和が必要
保育会	7	2		9		* 時間外を充実はすなわち子どもの個食につながると思うがそれが子どもの最善の利益になるのかわからない
保育会	1			1		
保育会	1			1		
	50	4	9			

	3.一時預かり について すでに充実している	3.一時預かり について どちらでもない	3.一時預かり について 充実していない	計	63	
幼稚園協会	4	1		5	15	* 職員基準の緩和 * 需要度が不明 * 潜在保育士の活用と人材バンクの充実が必要 * 保育士の確保が必要(2)
幼稚園協会	3		1	4		
幼稚園協会	2	2	2	6		
保育会	15	1	7	23	48	* 行事日・年末年始に断るケースが多いので施設としては限界を感じる * 職員補充が必要 * 各地区の行政センターに設置してはどうか * 待機児童がいるので人的に余裕がない * 一時預かりをする園(特に公立にお願いしたい)が増えてほしい * 公的施設に設置してはどうか
保育会	11	1	2	14		
保育会	6		3	9		
保育会		1		1		
保育会	1			1		
	42	6	15			

子ども・子育て会議アンケート (2018年12月から2019年1月実施) 市内108施設対象

幼稚園協会	北部	1	4. 病児・病後児保育 について すでに充実している	4. 病児・病後児保育 について どちらでもない	4. 病児・病後児保育 について 充実していない	計	63	
幼稚園協会	北部	1		1	3	5		* 事業所の理解が無いと親の欠勤は難しい(2) * 行政・事業所で子どもの居場所を増やしてほしい * 佐々町では幼保施設内で実施されているので市に尋ねたところ大変だと言われた * 設置基準規則緩和ができれば幼稚園や保育所の空き教室を利用できるのではない * 受け入れ先の拡充と料金値下げが必要 * 園内に病児室とスタッフを配置できれば良いのではない * 登録していないと利用できないし急に預けることもできないので利用しにくい * かかりつけ医にこのシステムがあることが理想的 * 病院によっては採算が合わない * 幼稚園単独では無理
幼稚園協会	中部			2	2	4	15	
幼稚園協会	東部			3	3	6		* 市から病院(園医・小児科)へ積極的に働きかけてほしい(2) * 公立で取り組んでほしい * 看護師配置ができるような給与補助が必要 「看護師・保育士雇用による補助金、環境整備に係る補助金」→このような補助金があれば赤字になることはないのではないか * 園ではいまのところ無理 * どの病院でも低料金又は無料で受け入れることができれば助かる * 利用時間が長ければもっと利用しやすい * 病児施設への移動手段を担う仕組みがあれば助かる * 増えすぎると子どものために休みたくも休めない家庭が増えるのではない * 企業に働き方改革を推進してほしい * 行政から小児科への積極的なアプローチが必要(2) * 中央病院の企業内保育所で対応してもらえないか * 看護師配置ができるような給与補助が必要 * 病院内に設置してほしい * 病児・病後児には家庭保育が理想なので企業側に配慮してほしい * 安易に乳幼児施設が取り組むことには反対である * 子どもが受診した後に預けられるようになると便利だと思 * この施策に頼らずとも親が子どもと居てあげられるように看護休業の周知をしてほ い
保育会	北部	3		2	18	23	48	
保育会	中部	5		2	7	14		
保育会	東部	2		2	5	9		
保育会	島しょ			1		1		
保育会	?			1		1		

幼稚園協会	北部	5. 幼児教育・保育全般に関して必要な調査・研究・研修についてすでに充実している	5. 幼児教育・保育全般に関して必要な調査・研究・研修についてどちらでもない	5. 幼児教育・保育全般に関して必要な調査・研究・研修について充実していない	計	63
幼稚園協会	北部	2	3	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 行政主体ではなく施設・団体主体で開催する研修が必要</li> <li>* 年間計画を早目に出してほしい</li> </ul>
幼稚園協会	中部	1	2	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 形だけの幼保研は必要ない</li> <li>* 最新情報やデータが入りやすいように大学と協力して調査・研究をしてみようか</li> <li>* 保育者が学ぶ時間や気持ちの確保ができるように環境を整えてあげなければならぬ</li> </ul>
幼稚園協会	東部	1	1	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 公的な性格が強い研修はキャリアアップ研修として認めてほしい</li> <li>* 幼保研を廃止してもキャリアアップ研修に参加させたい</li> <li>* キャリアアップ研修の日程が少ないので研修が受けられない</li> <li>* 職員配置の充足が必要</li> <li>* ひどい担任では研修に出にくいので長期休業日に開催すればよいのではない</li> </ul>
保育会	北部	10	1	23		<ul style="list-style-type: none"> <li>* アンケートをとると良いのではない(2)</li> <li>* 幼保連携で調査・研究をして行政との情報交換をする</li> <li>* 労働者の権利を学ぶ場が必要</li> <li>* 日程調整が必要</li> <li>* 研究方法を助言者から学ぶ必要がある</li> <li>* 幼教センターは幼保の悩みを集約する場でありグレーゾーンや悩み解決をサポートする場であってほしい</li> <li>* 時間の確保が難しいので職員補充が必要</li> <li>* 職員が日頃疑問に思っていることなどの意見を出し合う研修をしてみようか</li> </ul>
保育会	中部	8	2	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 調査・研究に予算措置が必要</li> <li>* アンケートをとる</li> <li>* キャリアアップ研修に3日連続で参加する本人も施設も負担大である</li> <li>* 市全体の乳幼児数増減データを共有してほしい</li> </ul>
保育会	東部	3	1	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 大物講師を呼べるよう予算増額してほしい</li> <li>* 県の研修がキャリアアップ研修や免許更新に認められると受講意識が高まると思う</li> <li>* 働き方改革・処遇改善・保育士不足と全てがスムーズに回るようにすることが難しいので試行錯誤している</li> <li>* 保育士個人が社会人として必要な研修が必要</li> <li>* 学校で社会人としての勉強をもっとしてほしい</li> </ul>
保育会	島しょ	1	1	1		
保育会	?	1	1	1		
		26	8	29		

子ども・子育て会議アンケート (2018年12月から2019年1月実施) 市内108施設対象

2019年2月8日付 差し替えのお願い

宮崎県の例を挙げた文章で「勤務時間が144時間」としておりました。正しくは1440時間です。訂正し、お詫びいたします。差し替えていただきますようお願い致します。(和田)

6. その他		
幼稚園協会	北部	
幼稚園協会	中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 宮崎県 - 無資格者でも前年の乳幼児施設での勤務時間が1440時間であれば次年度は保育士としてカウントできると知事が認めている(ただし全体の1/3まで)</li> <li>* 今回の保育・教育要領は小学校の新しい学習指導要領に連動しており幼児教育の大きな変わり目であるにも関わらず現場での認識が浅い</li> <li>* 研修の機会が増えすぎているので参加者が少ない傾向にある</li> <li>* 保育の質を変えていく研修が必要である</li> <li>* 県・市・保育団体の研修全てがキャリアアップにつながるようすり合わせが必要</li> </ul>
幼稚園協会	東部	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構による研修会では短時間や一日の研修もキャリアアップ研修として認められている</li> </ul>
保育会	北部	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 保護者との信頼関係構築のために情報発信を社会全体でしなければならぬのではないか</li> <li>* 保育園運営に関して書類や事務が多く理解できない事も多い</li> <li>* 保育士としての資質ではなく個々の人間性の問題がある</li> <li>* 保育に真摯に向き合うようやる気が必要だと思う</li> <li>* 学生時代から社会人としての心がまえを学んでほしい</li> <li>* 看護師を最低基準配置の中に入れてほしい</li> <li>* 看護師・保健師・准看護師を無条件で保育士としてカウントしてほしい</li> <li>* 市(行政)と密接に関わらなければ補助金の要求など自分たちだけでは何も進まない</li> <li>* 補助金を増額して休日保育をする施設が増えることを望む</li> </ul>
保育会	中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 行政が収集した情報を幼保へ周知させてほしい</li> <li>* 人員配置充実のために保育士処遇の改善がさらに必要だと思う</li> <li>* 乳幼児教育がサービス化しないように気をつけなければならぬ</li> <li>* 乳幼児施設の質＝従事者の質なので保育内容をもっと充実しなければならぬ</li> </ul>
保育会	東部	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 虐待防止のアクションをとりあげてほしい</li> <li>* 入所希望照会について優先順位のつけ方を改善してほしい</li> <li>* 入所決定について施設運営上の都合は全く加味されていない</li> </ul>
保育会	島しょ	
保育会	?	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 保護者がどのような園を望んでいるのか意見を伺う／園を増やすのではなく既存施設の活用法を考えてみてはどうか(街中の子どもの数が減っているようなので)</li> </ul>